

「若者」で考える武蔵野のカイゴ

プロジェクト 若ば

第 4 回 レポート

「仕事とプライベート」



プロジェクト若ば とは？ …若者たちの葉、若者たちの場

市内の 39 歳までの介護職の方々が、地域の「カイゴのシゴト」をより良いものにするために交流し、学び合い、主体的に活動することを目的としたプロジェクトです。情報共有から、介護業界のイメージアップに関することまで…自由な発想で、地域に新たな風をおこします。

12月13日(金)、今年最後の集いが開催されました。毎回、「今日はどんなメンバーだろう」「どんな面白いアイデアが出るかしら」と楽しみに開催しています。今回もとても活発な会となりました。そのダイジェストを人材育成センターよりご報告します。

今回のダイジェスト

(当日のスライド資料より)

MENU
本日はこんなことやります。

- 1 正式名称について
- 2 事務連絡
- 3 意見交換「仕事とプライベート」
- 4 お仕事フェアについて

本日参加メンバーの所属事業所（敬称略）
ケアワーク北多摩/メンバーシップ若しの/
Dai-job-high/北町高齢者センター/高齢者総合センター
シルバシティ武蔵境/ホームヘルプセンター武蔵野/

今回参加したメンバーの所属事業所

Dai-job high、ケアワーク北多摩、シルバシティ武蔵境、NPO グレースケア、北町高齢者センター、高齢者総合センター、ホームヘルプセンター武蔵野、メンバーシップむさしの、アクセスポイント吉祥寺

今回は 14 名のメンバーが参加しました。会の初めにはこの度正式に決定した「プロジェクト若ば」の名称について説明し、センター長からは開催時の託児保育やプロジェクトの設置要綱についてご案内しました。また、メンバーが取材を受けた新聞記事についても皆さんと共有しました。



武蔵野プレイス内にある「おはなしのへや」を利用して保育のプロが、開催の間メンバーのお子さんたちを遊ばせていただきました。介護も保育も、生活には欠かせないものです。



Dai-jobHigh 天島さんの記事。皆で記事を読みながら改めてメンバーの活動について知ることができました。



現場スタッフ、管理職、当事者…同業者でも視点はさまざまです。これまでの会で一番賑やかだったかも？笑い声の絶えない活発な意見交換タイムでした。

そして後ろには境駅前のイルミネーション。

生活に密着した仕事だからこそ。

今回の意見交換のテーマは「仕事とプライベート」。シンプルながら福祉サービスを提供する介護職にとってはとても複雑なテーマでもあります。まず各グループで趣味を絡めて自己紹介をした後、グループごとに自由に意見を出し合いました。

事業所のみなさんからの質問

- ・ 夜間、業務外でのコール、連絡を取らなければならないため、**プライベートが少ないと感じる**。情報伝達・コミュニケーションの取り方をどうしているか聞きたい。
- ・ **リフレッシュ休暇**を導入しているか、またその取り方は？
- ・ **夜間オンコール**の体制はどのように取っているか？（手当、タイムカード管理）
- ・ 年上のスタッフとどう付き合っているか。**プライベートでも連絡をとりあったり、食事に行ったりしているか？**
- ・ 24時間体制なので**私生活との境界が曖昧**になりがち。**メリハリ**をつける工夫は？

- ・ 介護の仕事とプライベートを分けること、どのくらい意識をしていますか？（オプスのスイッチ、私生活の話、家族のこと、自分のキャラクター…）
- ・ 職場での取り組み、工夫、現場での働きかた（休暇等の制度、日々の会話から感じる事）
- ・ 自分の望む「働き方」のイメージは？将来めざしたいものは？

(当日のスライド資料より)

「仕事とプライベートの分け方について」メンバーの意見（一部）

やりがい

「毎日楽しく働いていたら休みナシに慣れてしまった。」「楽しくても体は疲れている。」「今は休むことを知った。もう戻れない、“禁断の果実”！」

休憩・休日

「昼休憩ってどう過ごす？」「利用者の方の対応もイレギュラーにあるため、規定通りに昼休みをとるのは難しい。」「入社したばかりは休憩をとることについて自分から言い出せなかった。」「シフト制…調整役としても難しい。残業についても同様。」

私生活

「昔は“オール”することもあった。」「今はヘロヘロ。」「若者とはいえ体力は年々落ちる。」「24 時間の介助が必要な人間は、芸能人と同じでプライベートなんてない。交友関係もすべて介助者に見られることになる。」「休日は疲れて寝て過ごしてしまう。」「休日でも趣味のために早起きする。」

…など

プライベート、と言っても意味合いは様々。皆さんにとってのプライベートは余暇の過ごし方よりもまず「休憩、休息」の意識が大きいようでした。仕事のやりがいにも没頭するあまりに休息を忘れてしまったり、休もうと思っても急な対応によって休めなかったり。きちんと休みをとることが質の良い仕事をこなすことに繋がると分かりつつ、うまくいかずに葛藤しているという意見も多くありました。また、事業所の勤務体制(24 時間体制、施設での夜勤、土日営業など)によっても意識は様々でした。

それぞれのプライベートに触れつつ意見交換した後、終盤には介護業界の働きやすさについても話し合いました。「販売の仕事など、ノルマがきつい職場もある。」「介護は未経験者でも働きやすい。」「人助きの職人!」「困っている人がいたら助ける、その際の専門的なスキルが私たちにはある。」「でもなりたい職業ランキングには入ってこない。」「世代も様々、価値観もそれぞれ。」「…等。近年様々な働き方の可能性のある介護業界ですが、身近なところで新たなアクションをおこす難しさも伝わってくるような意見交換でした。各事業者がよりよい職場にする後押しになるような取り組みを、皆さんの意見をもとにセンターでも行えたらと思います。

コピスのウッドデッキにて介護職 PR!!

意見交換のあと、今年度のお仕事フェアについて、センターより進捗を説明をしました。

今年度は一般の方を対象に、介護業界・介護職を身近に感じてもらうため、吉祥寺コピス前の「吉祥寺デッキ」にてイベント実施することにしました。詳細は現在検討中ですが、決定している日時は下記の通りです。

人材育成センター 介護職の啓発イベント

日時: **3月21日(土)** 12時~14時

場所: 吉祥寺コピス 「吉祥寺デッキ」

対象: 通行する買い物客、市民等

スタッフ: 若ばメンバー、人材育成センター職員、市内事業所職員 等

内容についても既に案がありますが、それは決定するまでのお楽しみ…。若手介護職が活躍する姿をお見せできるようなイベントにします。また、事業所の皆様にもぜひご協力いただきながらイベントを盛り上げたいと思っています。



◀ 吉祥寺デッキでよく見かける楽器演奏の光景…そのイメージをもとにディスプレイでのレクリエーションを取り入れて披露するのはどうだろうか、というアイデアが。北町高齢者センターデイのレクでは職員が奏でギター之音と共に唄っています。

第4回を終えて

前回のメンバーからの意見を参考に、今回は意見交換の時間を少し長く設けました。前半・後半で区切り、2 グループの意見を途中で共有しつつ、人それぞれの考え方を理解し合うことができた集いとなりました。以下、皆様からの感想です。

メンバーの感想 (アンケート回答より)

「話しやすかった。他の参加者も進んで発言していて雰囲気が良かった。」

「笑い声多く、皆様の人柄を知ることができた。」

「色々な現場で働く人の意見や、同じ市内で働く仲間である事も会話の中で感じる事ができました。」

「他事業所で働いている方々の意見が聞けた。」

「生活の様子やプライベートから、普段の介護に携わる人々の考え方に触れられた。」

「様々な職場の現況が伝わってきて学びになりました。」

積極的に意見が飛び交い、それぞれが率直に話し、盛り上がった今回…沢山話したせいか、いつもよりフリードリンクの減りも早かったです。それぞれが介護の専門職であり、事業所の看板を背負ってその場にいるという高い意識も感じられ、とても有意義なひと時でした。参加された皆さま、お疲れさまでした。そしてご協力いただきました事業所の皆さまも有難うございます。

次回は今回の内容を引き継ぎながら、職場での世代間・価値観のギャップについて話し合います。

次回の若ば

第5回 **1月10日(金) 19:00-20:30**

@武蔵野プレイス スペースC

●意見交換

「職場での価値観のギャップとコミュニケーション」

●人材育成センターお仕事フェア

コピス吉祥寺前ウッドデッキでのイベントについて

●情報提供

★単発での参加も可能です。参加希望の方は申込用紙またはお電話よりお申込みください。

★今後の予定は別紙をご参照ください。

【本プロジェクトに関するご質問・ご意見はこちらまで】

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

(中島・桑谷)

TEL 0422-20-3741 FAX 0422-23-1164

Follow Me!> @ m_jinzai